

Godox 神牛

SK II スタジオフラッシュ



深圳市神牛摄影器材有限公司

GODOX Photo Equipment Co., Ltd.

所在地/Add: 深圳市宝安区福海街道塘尾社区福川工业区厂房2棟1階~4階、4棟1階~4階

1st to 4th Floor, Building 2/1st to 4th Floor, Building 4, Yaochuan Industrial Zone,

Tangwei Community, Fuhai Street, Bao'an District, Shenzhen 518103, China

電話 /Tel: +86-755-29609320(8062) ファックス /Fax: +86-755-25723423

電子メール/E-mail: godox@godox.com <http://www.godox.com>

705-SK2000-06

Made In China



取 扱 説 明 書

はじめに

この度はSKIIシリーズスタジオフラッシュをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は耐久性に優れ、機能がそろうっており、性能が強く、中小規模の写真館と撮影スタジオの人物撮影、エレクトロニックコマース製品撮影のために設計されたものであり、コストパフォーマンスの高い理想的な光源です。大型スタジオでは、補助光ツールとしてハイライト、バックライトやヘアスタイルライトを提供することもできます。本製品の特徴は主に下記の通りです。

- 神牛2.4GワイヤレスXシステム内蔵
- 40レベル発光強度を任意に選択可能で、LCDスクリーンは1/16~1/1（または6.0~10.0）で精確に出力を確定できます。
- オプションのX1、XT16またはFT-16パワーリモコンを利用すると、フラッシュパワーの大きさ、モデリングランプスイッチ、プザー機能およびトリガーを遠隔制御できます。
- 精緻でコンパクトで、ポーエンズマウントを採用しており、各種スタジオの発光効率アクセサリに対応できます。
- 150Wの大出力モデリングランプで、5%~100%の手動調光です。
- 出力は安定で、同じパワーで引き続き出力する場合、その変化は2%を超えません。
- 予備発光防止機能を備え、1度予備発光機能付きのカメラでは光制御によってシンクロ撮影を実現できます。
- エルゴノミックスパネルで、3秒後にパラメーターを調整して知能記憶を行い、起動すると自動に復帰します。

目次

- | | | |
|----|----------------|-----------------|
| 01 | はじめに | ● テスト発光 |
| 02 | 警告 | ● シンクロトリガー |
| 02 | 注意事項 | ● GR/CHボタン |
| 03 | 部品 | ● 光制御の使い方 |
| | ● 本体 | ● 音声提示 |
| | ● LCDスクリーン | ● 組合せボタン |
| | ● 付属品 | ● アラーム表示 |
| | ● オプション | ● 記憶保存機能 |
| 04 | 使用 | ● ワイヤレスコントロール機能 |
| | ● フラッシュの固定 | ● フラッシュチューブの着脱 |
| | ● 電源の入れ方 | |
| | ● モデリングランプの使い方 | 09 仕様 |
| | ● パワー調整 | 10 メンテナンスと保守 |

警告

本製品を使用する前に、下記の警告内容をよく読んでください。また、必要な時にすぐに取り出せるよう本取扱説明書を大切に保管してください。

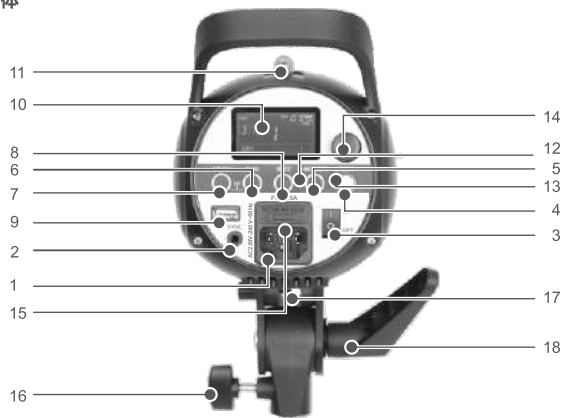
- ▲ 自分勝手に本製品を分解しないでください。製品に故障が出た場合、弊社または授權された専門家よりチェックしたり、メンテナンスしたりしなければなりません。
- ▲ 乾燥を保ってください。濡れた手で本製品に触れたり、本製品を水の中に浸したり、雨の中に曝したりしないでください。
- ▲ 子供の手が届かないところに保管してください。
- ▲ 撮影ライトは通気性の良い環境に適用します。使用時に、ライトの光源部分および放熱孔を塞がないでください。燃えやすい、爆発しやすい環境で使用しないでください。
- ▲ 撮影ライトは電源プラグを接続装置としているため、随時に操作し易い状態を保つ必要があります。
- ▲ 使用時に手でライトの発熱部品に触れてはいけません。
- ▲ 付属品を取り付けたり、接続したりする場合、スイッチをオフにして、電源を切ってください。熱傷を避けるため、フラッシュチューブまたはモデリングランプを着脱する場合、ライトチューブが冷却状態にあることを確認してください。また、絶縁手袋を付けてください。
- ▲ フラッシュを人の目（特に赤ちゃんの目）に当てて発光しないでください。そうしないと、短時間に視力障害を起こす恐れがあります。
- ▲ 使用しない場合、電源を切ってください。

注意事項

- ▲ フラッシュはフルパワーで引き続き30回トリガーされた後、3分間ぐらい冷却する必要があります。冷却せずに使い続けると高温・熱蓄積を起こします。
- ▲ 長期間にわたってモデリングランプを使い続けしないでください。そうしないと、ランプホルダーに取り付けられたソフトボックスなど燃えやすい付属品が燃えるようになります。燃えやすい付属品がある場合、10分以上使い続けしないことをおすすめします。10分以上使った後、1分間冷却してから再使用してください。
- ▲ スヌートを使う場合、長期間にわたってモデリングランプを点灯させたり、頻繁に発光させたりしないでください（フルパワーの場合、6回/分以下）。熱蓄積はフラッシュハウジングまたはフラッシュの損傷を起こします。
- ▲ フラッシュチューブまたはモデリングランプの損傷を防ぐため、突如なインパクトを避けてください。

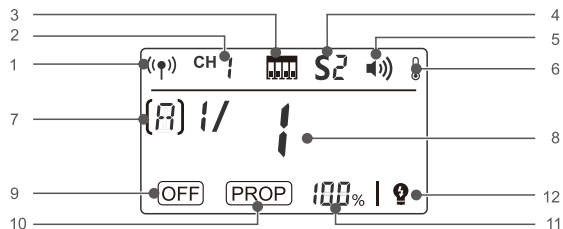
部品

・本体



- | | | |
|----------------------|----------------------|-------------|
| 1.電源ソケット | 8.BUZZブザーボタン | 15.ヒューズベース |
| 2.シンクローケーブルジャック | 9.外付けワイヤレスコントロールソケット | 16.ブラケット |
| 3.電源スイッチ | 10.LCDスクリーン | 17.傘ホール |
| 4.テスト発光ボタン | 11.光制御レシーバボタン | 18.方向調整ハンドル |
| 5.MOD/OFFモデリングランプボタン | 12.モデリングランプインジケータ | |
| 6.S1/S2光制御モードボタン | 13.テストインジケータ | |
| 7.GR/CHチャンネル/グループボタン | 14.調整つまみ+SETボタン | |

・LCDスクリーン



- | | | |
|--------------------|--------------------|-------------------------------|
| 1.2.4G内蔵ワイヤレスマーク | 6.温度アラーム表示 | 11.モデリングランプパーセンテージ表示パワーモード |
| 2.内蔵ワイヤレスチャンネル | 7.内蔵ワイヤレスグループ | 12.モデリングランプがフラッシュがトリガーされた時に消灯 |
| 3.内蔵ワイヤレスチャンネルダイヤル | 8.フラッシュパワー表示 | |
| 4.光制御表示 | 9.モデリングランプオフ | |
| 5.音声表示 | 10.モデリングランプPROPモード | |

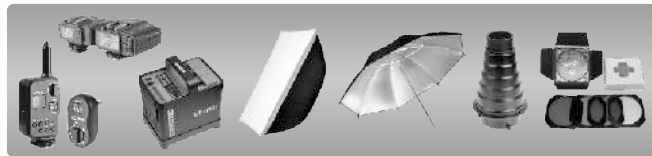
・付属品

- 電源ケーブル
- ランプホルダーガード
- モデリングランプ
- 取扱説明書



・オプション

弊社の下記の撮影アクセサリと組み合わせて使用し、最適な撮影効果と使用体験を獲得できます。X1、XT16またはFT-16パワーリモコン、インバータ、ソフトボックス、反射傘、ランプホルダー、ハニカムグリッド、レーダーカバー、スヌートなど。



使用

・フラッシュの固定

- ランプホルダーガードを取り外し、モデリングランプを取り付けます。(図に示すように、マウントに発光効率アクセサリを取り付けた後、取り外す必要がある場合、後ろへランプホルダーのアクセサリ解除レバーを押すと同時に、反時計回りにアクセサリが緩むまで回すと良いです。)
- フラッシュを適当なブラケットに取付け、ブラケット(16)を調整し、ボルトを締め付けて固定し、ニーズによって方向調整ハンドル(18)を調整してフラッシュの方向を調整します。傘ホール(17)の中に各種撮影スタジオ傘を差し込むことができます。



・電源の入れ方

電源ケーブルによって交流電源とフラッシュを接続し、フラッシュの電源スイッチ (3) をスライドさせます。

・モデリングランプの使い方

モデリングランプのボタン (5) を短押しすると、モデリングランプのモード (OFF、PROP、パーセンテージ) を選択できます。長押しすると、モデリングランプがトリガーされる時の消灯機能をオンにしたり、オフにしたりすることができます。


無人状態で長期間の点灯による高温・熱蓄積を防ぐため、モデリングランプは4時間点灯した後に自動に消灯します。

OFF: モデリングランプがオフになります。

PROP: モデリングランプのパワーはフラッシュの変化によって変化し、フラッシュのパワーが大きいほど、モデリングランプが明るくなります。

パーセンテージ: 手動にモデリングの明るさ (5%~100%) を調整します。

設定:

- 1.スクリーンに<OFF>が表示された時、<MOD/OFF>ボタンを短押しすると、PROPモードに入り、スクリーンにPROPを表示させます。
- 2.スクリーンに<PROP>が表示された時に、<MOD/OFF>ボタンを短押しすると、パーセンテージ調整モードに入り、スクリーンにパーセンテージ輝度を表示させます。SETボタンを短押しして、パーセンテージ輝度を点滅させ、調整つまみを回して5%~100%から輝度を選択できます。再度SETボタンを短押しすると、調整画面を閉じます。
- 3.スクリーンに<PROP>が表示された時に、<MOD/OFF>ボタンを短押しすると、<OFF>モードに戻ります。
- 4.<OFF>以外のモードで<MOD/OFF>ボタンを2秒長押しすると、モデリングランプがトリガーされた時に消灯する機能を起動し、スクリーンにが表示され、再度<MOD/OFF>ボタンを長押しすると、このモードから退出します。



ランプホルダーに燃えやすいアクセサリが取り付けられた場合、長期間的にモデリングランプを点灯させてはいけません。10分間点灯した後に1分間冷却させてから再使用した方が良いです。また燃えやすいアクセサリの温度に注意して

・パワー調整

発光パワーは調整つまみ (14) によってコントロールし、「1/16」から「1/1」まで自由に調整でき、LCDスクリーン (10) に選択されたパワーが正しく表示され、異なった環境でお客様の光源に対する要求を満たします。LCDスクリーンに「-」が表示された場合、フラッシュのトリガー機能がオフになることを示します。ハイレベルからローレベルへ調整する場合、テスト発光ボタンを押して放電させて必要なパワーを獲得する必要があります。

・テスト発光

フラッシュの発光をテストし、撮影しない場合、テスト発光ボタン (4) を押してください。カメラマンはテストボタンを利用して調整つまみ (14) と組み合わせて発光輝度を調整できます。SETボタンを押したまま本体を起動すると、フラッシュのバージョンナンバーをチェックできます。

・シンクロトリガー

シンクロケーブルジャック (2) の規格はφ3.5mmです。ここにシンクロケーブルまたはトリガーのプラグを差し込んでフラッシュをシンクロトリガーすることができます。



・GR/CHボタン

短押しすると内蔵ワイヤレスグループを調整できます。LCDグループ表示が点滅している時、調整つまみを回すとグループを変更できます。長押しすると内蔵ワイヤレスチャンネルを選択できます。LCDチャンネル表示が点滅している時、調整つまみを回すと、チャンネルを変更できます。

・光制御の使い方

光制御モードに三つの選択があり、SLAVE光制御モードボタン (6) によって切り替えます。

・非光制御モード: LCDにS1またはS2が表示されず、光制御機能がオフになっていることを示します。

・S1光制御ユニットの設定: <S1/S2>ボタンを押してS1機能を選択すると、フラッシュはスレーブフラッシュとして使い、複数の照明効果を作り出すことができ、手動発光環境に適用します。これはマスターフラッシュの第1回発光とシンクロに発光をトリガーできます。その効果はワイヤレストリガーの使用と同じです。

・S2光制御ユニットの設定: <S1/S2>ボタンを押してS1機能を選択すると、フラッシュはスレーブフラッシュとして使うことができ、 TTL発光環境に適用します。これは予備発光防止機能を備え、1度予備発光機能付きのカメラでは光制御によってシンクロ撮影を実現できます。これはマスターフラッシュの第2回発光とシンクロに発光をトリガーできます。即ち、2度光制御トリガーです。

・音声提示

ブザーボタン (8) はブザー提示のオンとオフをコントロールします。LCDに音声マークが表示された時、ブザー提示音がオンになることを示します。LCDに音声マークが表示されない時、ブザー提示音がオフになることを示します。

リサイクル満了時に、「ピ」という音声が鳴り、トリガーできることを提示します。

・組合せボタン

GR/CHボタンとS1/S2ボタンを同時に長押しすると、内蔵ワイヤレスをオン/オフにすることができます。LCDにワイヤレスマークとチャンネルが表示されない場合、内蔵ワイヤレスがオフになっていることを示し、ワイヤレスマークとチャンネルが表示された場合、内蔵ワイヤレスがオンになっていることを示します。同時にS1/S2ボタンとBUZZボタンを押すと、出荷設定にリセットできます。

・アラーム表示

E0 温度センサーと接続されていません。

E1 充電中、コンデンサー電圧を測定しましたが、1秒内に上がっていません。

E2 温度上昇が最も速い電子部品は定額温度を超えています。

E3コンデンサー放電電圧>定格値+10%

アラーム音声「ビ、ビ」は0.5 s置きに1回鳴ります。SETボタンをクリックすると、アラーム提示音を停止させることができます。

・記憶保存機能

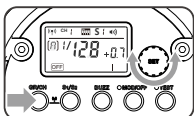
フラッシュはパラメーター記憶機能を備え、パラメーターを調整して3秒後に変更しなかった場合、フラッシュは自動に設定したパラメーターを保存します。再起動する時に、フラッシュの初期設定は前回終了前と同じです

・ワイヤレスコントロール機能

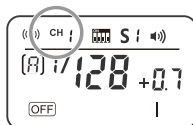
フラッシュは2.4Gワイヤレス伝送を内蔵しており、X1、XT16パワーリモコンと組み合わせて使うことができます。

同時に<GR/CH>と<S1/S2>ボタンを押すと、内蔵ワイヤレスを起動し、スクリーンに<(R)>を表示させます。この時、内蔵2.4Gワイヤレスモードに入ります。撮影現場に一つ以上のワイヤレス発光システムがある場合、通信チャンネルを変更することによって信号干渉を防止できます。マスターユニットとスレーブユニットのチャンネル番号を同じに設定すれば良いです。

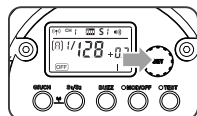
通信チャンネルの設定



1 <GR/CH> ボタンを2秒長押しすると、チャンネル番号は点滅表示されます。

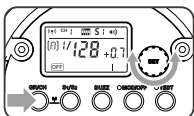


2 調整つまみを回して1~32からチャンネルを選択します。

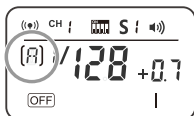


3 <SET> ボタンを押して確認します。

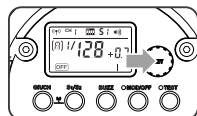
通信グループの設定



1 <GR/CH> ボタンを短押しすると、グループ番号は点滅表示されます。



2 調整つまみを回して0~Fからグループを選択します。



3 <SET> ボタンを押して、確認します。

・外付けワイヤレスコントロール機能

フラッシュにワイヤレスコントロールソケットを内蔵しており、特別なリモコンと組み合わせて使うと、フラッシュに対するワイヤレスコントロールを実現できます。FTシリーズリモコンのレシーブ側をワイヤレスコントロールソケットに差し込み、リモコントランスミッター側を手で持つと、フラッシュのパワースイッチと大きさを、フラッシュトリガーなどを遠隔制御できます。

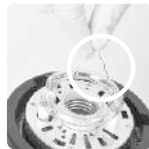
トランスミッター側をカメラのホットシューに置いて、カメラのシャッターを通じてシンクロトリガーを行なうことができます。



●もっと多いリモコンの使い方について、FTシリーズリモコンの取扱説明書をご参照ください。

・フラッシュチューブの着脱

あらゆる電源を切り、電源ケーブルを抜き、絶縁手袋を付けて、フラッシュチューブのワイヤを緩め、バランスよくフラッシュチューブの両端を取り、柔らかく外へ古かったフラッシュチューブを引き出します。古かったフラッシュチューブの両端にあるスリーブを取り外して新しいフラッシュチューブの両端に付け、新しいフラッシュチューブの両端間を取り、ランプホルダーの二つの銅端子に当てて、バランスよく内へ押し込みます。最後に、ワイヤを弾性シートに回し、締め付けて、しっかりとフラッシュチューブを固定します。



仕様

型式	SK300II	SK400II
発光パワー	300Ws	400Ws
発光指数 (m ISO 100)	58	65
色温度	5600±200K	
電源電圧	AC100V-120V ~ 60HzまたはAC200V-240V ~ 50Hz	
発光パワー調整	OFF、6.0 ~ 10.0 (1/16 ~ 1/1)	
モデリングランプパワー	150W	
モデリングランプレベル	5% ~ 100%	
リサイクル時間	0.1 ~ 1秒	
発光トリガー制御方式	シンクローケブルジャック、光制御誘導、テスト発光ボタン、ワイヤレスコントロールソケット	
発光持続時間	1/2000 ~ 1/800 s	
シンクロポート出力パラメーター	5V	
USBポート出力パラメーター	5V/200mA (神牛レシーバのみ)	
ヒューズ	AC220V-240V ~ 50Hz: 5A AC110V-120V ~ 60Hz: 8A	
サイズ	フラッシュ本体直径φ12.7cm ハンドルを含む高さ20.6cm 保護ガードを含む長さ34cm	フラッシュ本体直径φ12.7cm ハンドルを含む高さ23.2cm 保護ガードを含む長さ38cm
正味重量	約1.9kg	約2.1kg

メンテナンスと保守

- フラッシュは作動している時に異常が起こった場合、直ちに電源を切って、原因を究明してください。
- 本体を振動させないでください。ふだん、本体表面のちりを掃除してください。
- 本体にわずかに熱が発生することは正常です。特別な需要はない場合、連続にトリガーしないでください。
- フラッシュチューブとモデリングランプという消耗品の場合、お客様は自分でオリジナルプロダクトで取り替えることができるほか、フラッシュの他のメンテナンスは全部弊社の指定したオリジナル部品提供可能な修理業者より担当します。
- 保証期間は1年間です。フラッシュチューブとモデリングランプは消耗品であるため、保証範囲内に属されません。
- 自分勝手にフラッシュを修理した場合、フラッシュの1年間保証期間が取り消され、メンテナンスする時、関係費用を受け取ります。
- 本製品は故障が起こったり、水に濡れられたりした場合、専門者にメンテナンスされてから、はじめて使用できます。
- 本製品をメンテナンス・掃除する場合、電源を切ってください。
- 弊社は予告なしに技術を変更することがあります。